

4 SDGsへの取組

2015年、日本を含む193の国連加盟国合意のもと、世界が直面するさまざまな問題に対し、世界が一丸となって取り組むための目標「持続可能な開発目標(SDGs)」が採択された。

SDGsは、あらゆる貧困に終止符を打ち、不平等と戦い、気候変動に対処しながら、「誰も置き去りにしない」世界を目指し、2030年までの達成を目指して世界が取り組むべき17の目標を示している。

御殿場市は、令和元年5月、市長を本部長とする御殿場市SDGs推進本部を発足させ、「御殿場市SDGs推進宣言」をした。

本実施計画の策定に際しては、SDGsの実現に向けた取り組みを推進するため、各事業整理シートに、世界の国々が取り組むべき17の目標を表したアイコンを表示する。

【御殿場市SDGs推進宣言】

地域の多様な関係者とのパートナーシップにより、環境・社会・経済の調和のとれたまちづくりに率先して取り組むことで、世界遺産富士山のふもとにふさわしい持続可能な地域社会を築き、わが国や世界のSDGs達成に貢献する。

〈アイコンの表示について〉

各種施策は、17の目標の複数に関連する場合があるが、本実施計画においては、各事業整理シートにおいて、特に関連する目標に係るアイコンを2つ以内で掲載するものとする。

なお、本実施計画は、第4次御殿場市総合計画の将来都市像実現のための具体的な事業計画であり、市全体の連携のもとに取り組むべきものであることから、目標「17 パートナーシップで目標を達成しよう」は、全ての施策に関連するものと考え、ここに表示する。



よって、各事業整理シートにおいて3つ以上の目標が関連する場合には、当該シートには表示していない。

